

あらき ニュース

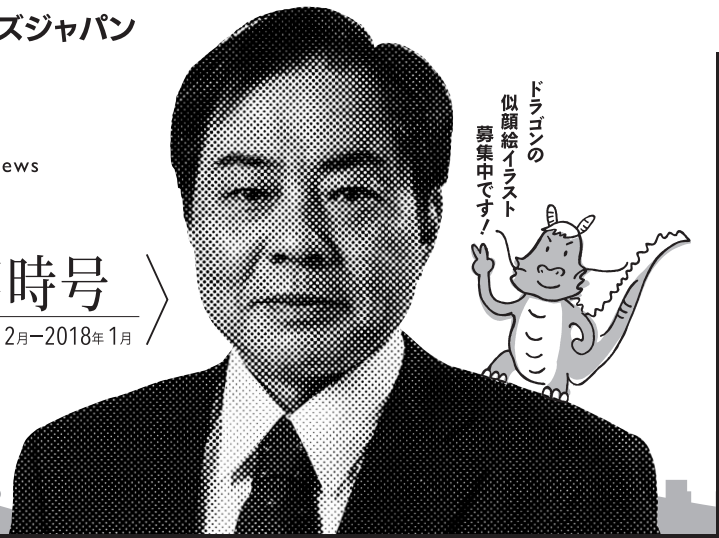
Ryusho Araki News

〈臨時号〉

2017年12月-2018年1月

緑の党
グリーンズジャパン

発行: 福岡市議会議員 荒木龍昇
〒814-0033 福岡市早良区有田5-17-7
TEL.092-862-8980 / FAX.092-862-8985
メール f-lopas@hf.rim.or.jp



「本当に攻撃を受ければ、こんな訓練は意味がない」の声

Jアラート訓練は、本当に必要だったか?

12月1日に福岡市において、政令市で初めて「Jアラート」の訓練が行われました。地下鉄・JR・西鉄で数分間電車を停止させる訓練のほか、天神中央公園や舞鶴小学校で避難行動訓練がありました。報道によると、既にJアラート訓練を実施した自治体では、被爆者や戦争体験者から「核攻撃を受ければこんな訓練は意味がない」「72年前の戦争時に竹槍で戦争訓練したときと同じやりくちで国民を戦争に動員しようとしているようだ」といった声が聞かれたほか、子どもたちからは「私もママも死ぬかも」という不安の声や「北朝鮮をやっつける」という敵愾心を持った声などがあつたとされ、子どもたちのPTSDの問題が心配です。

① 訓練内容 協議されず



舞鶴小学校の訓練

大規模な訓練であつたにもかかわらず、市長が主催する福岡市の最高意思決定機関である市政運営会議ではこの訓練について協議されていません。また、庁内関係機関での検討はされておらず、訓練結果も集約

されていません。

教育委員会は市民局の協力依頼で各市立学校に案内し、学校長の判断で訓練を実施したと言っています。しかし、舞鶴小学校以外にも訓練が行われた小学校がありましたが、その把握すらしておらず、子どもたちの心理的なケアを考えない訓練は無責任としか言いようがありません。本当に必要な訓練だったのでしょうか?

② 危機管理とは、危機的な事態が生じることを防ぐこと

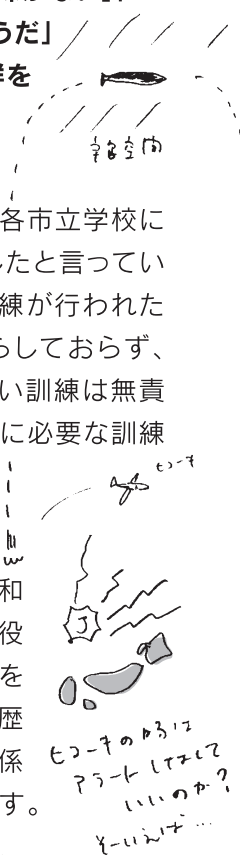
危機管理は起こった事態に対応するだけでなく、危機的な事態が生じることを防ぐことにあります。Jアラート訓練は市民に北朝鮮国民への敵愾心のみならず、韓国国民や在留外国人に対する憎悪や、偏見による犯罪行為(ヘイトクライム)を醸成することになります。戦争は人災であり、防ぐことができ

ます。戦争状態にならないように平和的に解決することが危機管理本来の役割です。近隣国の国民との友好親善を図ることが重要であり、お互いの歴史、文化を理解し、尊重し、信頼関係を築いていくことこそが危機管理です。

③ 大切なのは、お互いの歴史に対する理解を深め、友好関係を守ること

高島市長は局長クラスを釜山に派遣し、「少女像」問題の懸念を伝えるとされていますが、これまで築いてきた友好関係を壊してしまうことが危惧されます。韓国国民の多くの方は、安倍首相が直接謝罪を述べていないこと、日本政府が資金停止などユネスコに圧力をかけて慰安婦問題の記録を歴史遺産

に認定することを妨害したことから、「日本政府は歴史を正しく伝えようとしていない」と受け止めています。少女像問題は韓国国民の意思の問題であり、両国国民のお互いの歴史に対する理解が深まらない限りは、少女像撤去もなされません。今回の局長クラスの釜山への派遣は、見送るべきです。



地下鉄陥没事故 当高の反省見られず

・事故検討委員会の報告によると

今年3月に独立行政法人土木研究所を中心にした事故検討委員会が報告を出し、「*事故原因である可能性が高い事項」を指摘しています。福岡市はこの報告を受けて工事再開を検討し、事故区域の地層を人工岩盤で強化してナトム工法で再開するという結論を出しています。しかし、本当にこれで大丈夫でしょうか？

- ① 調査頻度が少なかったため、地山強度等の物性値や地層の厚さを適正に判断できなかった
- ② 難透水性風化岩は、物性値にバラツキがあったにもかかわらず、一つの均質な層として、物性値を代表値によって評価したことが適切でなかった
- ③ 難透水性風化岩の上面の不陸および内部の小断面層や剥離面、多くの節理や亀裂が存在し、これが水みちとなり、局所的に水圧作用面がトンネル掘削面に近かった
- ④ 現場に即した解析手法の検討や、解析の限界を認識した上で安全側の設計となるような工学的判断が不足していたことが要因となった
- ⑤ 未固結滞水砂層に対して止水のための薬液注入を実施せず、AGF工法に期待したことが要因になった

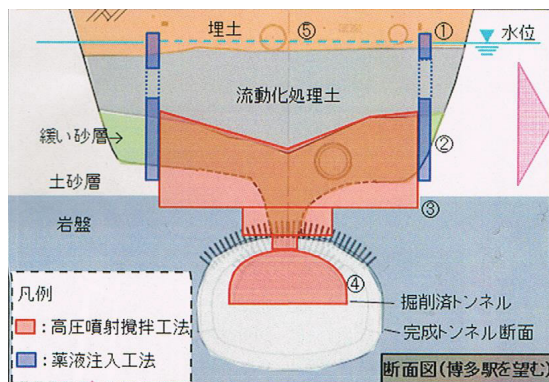
・繰り返し指摘されていた地層の複雑さ

事故前から市の技術専門委員会でも「福岡層群は波打っており」「追加調査で不透水層としている風化岩が薄いと考えられるため、土砂層と岩盤層がつながっている可能性があるため対策を検討する」、「必ずしも博多駅に近づくとも地盤の状況が安定する

という断定はしない方がよい」など繰り返し地層の複雑さが指摘されていました。事故検討委員会の指摘が「可能性がある」「考えられる」と断定していないことをもって、交通局は「法的過失について記載されていないので、法的責任はない」とし、反省がまったく見られません。

・ナトム工法での工事再開は安全か？

交通局は、地盤改良は「高圧噴射攪拌工法」と「薬液注入工法」により人工岩盤で地盤を作るとしています。しかし、流動化処理土の下層にある砂質層および難透水性風化岩の強化ができるのか、止水および地下水圧の削減はできるのか、また、高圧噴射攪拌工法はムラが生じやすくチェックボーリングも都合がよい部分だけを使う傾向があるという指摘もあり、疑問が残ります。



・開削工法に変更すべき

また、仮復旧の際の埋設物については、トンネルの再掘削工事工程にあわせて、各埋設物管理者と協議して本復旧するとしています。信号等の埋設物は問題が確認されない限り、埋めたままです。以上のことを勘案し、安全性を考えると、開削工法がよいのではないかと考えます。

・低コストに執着、あげく147億円増

議事録を見ると、ナトム工法を選択したことが問題であり、設計ミスとしか考えられません。経費を安く上げるためにナトム工法に当初から執着し、結果的には113億

円の工事が260億円の工事になりました。しかし誰も責任を取りません。

・高島市政への警告

この事故の背景には、1.4km、徒歩で15分から20分程度の距離に450億円(当初予算)もかけて延伸する必然性がどこにあったのか？ 巨大公共工事に絡む利権であり、税金の無駄遣いです。七隈線をはじめから天神

駅に接続させておけば必要がない工事でした。事業費292億円の人工島への接続道路、事業費500億円の空港への接続道路と、このような無駄な公共事業を繰り返す高島市政を、この陥没事故が警告したと言えます。



皆さまの声が届く議会づくりを目指しています。

- ・ぜひ、市政に関するご意見や、日頃の生活の中でお気づきのことなどお聞かせください。
- ・2017年の議会報告書(無料)を希望される方は、ご連絡ください。視察調査の報告もすべて掲載しています。



あらかき龍昇
公式ウェブサイト

<http://www.araki-jp.com/>

あらかき事務所

☎092-862-8980

会派控室(市役所内)

☎092-711-4875/FAX.092-733-5881/〒810-8620 福岡市中央区天神1-8-1 福岡市役所議会棟13階 緑と市民ネットワークの会

— このニュースは、議員活動の一環として、税金から賄われる「政務活動費」を用い発行しています —